

開発デザイン 月

調達 火

製造 水

物流 木

販売サービス 金

MONODZUKURI

モノづくり

ロスタイム減らし短納期



タイムリーな部品調達で急な注文にもロスタイムなく対応



急な期限の発注にも迅速に 대응する短納期生産は、受注競争力の主要なカギを握る。工場の小型物流機器を得意とするNKEも納期短縮のニーズが増え、部材の量を視覚的に把握する「見える化」や、協力会社との緊密な連携を始めた。生産の「ロスタイム」を洗い出して時間を縮める改善は、顧客を逃さないための永遠の課題だ。

N K E

小型物流機器

▷社長=中村道一氏▷所在地=京都府長岡京市馬場園所27▷電話=075・955・0071▷資本金=2億9700万円▷売上高=17億3600万円(12年3月期)▷従業員=122人▷創業=1969年(昭44)

部材棚活用 在庫見える化

「短納期の注文ほとんど増えている。明日か明後日にもほしいという発注もくる」。NKEの中村道一社長は、顧客の設備導入スタイルの変化をこのように説明する。顧客は全般に国内投資を抑えながらも、短期間で新製品を国内外に投入し、シェアを取る戦略を強めている。「予算が付けば、すぐに設備をそろえて生産を始めたい顧客の欲求は今後も変わらない」と語る。

協力会社と連携 共同開発も



ニーズに合わせて多品種展開するエアチャックなどの製品群

「宿命がある」。そこで、新たに「在庫量が目瞭然と分かる」取り組みに着手しようとしている。部材の状況を協力会社と連携し、一定の見込みを生産に基づく原料の鋼材や機械加工した部品を並べ、課題は追加発注量の精査に合せて的確な部材の追加発注に結びつけようとしている。

「在庫の山は収益の足かせになる。二律背反の戦いだ」と、高いハードルに意欲を燃やす。部材がそろわないと、生産のロスタイムが生じる。例えばコンベヤーは半日程度で組み立てられるが、部品待ちで数日かかってしまうケースもある。部材の的確な在庫管理やタイムリーな調達は、ロスタイムの追放に欠かせない重要なテーマだ。

協会の1社とは、搬送機器のチャックやシリンドラーなどのエアを再利用し、空気圧縮機(コンプレッサー)の消費電力を約3分の1低減する省エネシステムの共同開発にも、11年10月に着手した。「当社はシステムのコンセプトを手がけ、開発パートナーには高精度な加工やアイデアで協力してもらおう。03年から取引し、信頼関係を深めてきた」と説明する。

大手のライバルとは購買力の差で調達にハンディも生じるが、持ち前の小回りの協力会社との太いきずなで、厳しい経営環境を乗り越えて行く。

(京都支局長・田井茂)